

日本トルクメニスタン・フォーラム
小坂憲次 日・トルクメニスタン友好議員連盟会長 御挨拶

ベルディムハメドフ大統領閣下、並びに御列席の皆様、

1. 導入

この度、日・トルクメニスタン友好議員連盟会長を仰せつかりました小坂憲次でございます。ベルディムハメドフ大統領御一行を我が国の賓客としてお迎えし、このような場で御挨拶する機会を得ましたことを光栄に思います。

2. 日・トルクメニスタン友好議員連盟設立の意義

本年8月、私が親交の深い東大の鯉沼教授から大統領訪日の話をお聞きし、両国の更なる友好関係を深めるため、即座に友好議員連盟の立ち上げに向けた準備を開始しました。その結果、30名の有力な国会議員が直ちに賛同し、日・トルクメニスタン友好議員連盟が成功裡に立ち上がり、私が会長に指名されました。

3. 両国の協力の可能性

ここで、両国が協力し合うことができる有望分野について、自身の経験なども踏まえつつ、私なりの考えを述べたいと思います。

豊かな資源に恵まれた貴国の平和的な発展を、我が国の技術力で支援することは、互恵的な協力関係であり、地域の安定並びに両国の将来に大きな可能性をもたらすものと考えます。

私は、情報通信担当の総務副大臣並びに文部科学大臣の経験をもとに、情報通信及び科学技術振興に努力しております。このような立場から、トルクメニスタンにおけるテクノパーク建設等のプロジェクトを支援するとともに、トルクメニスタンの砂漠からシリコンを生成しソーラーパネルを生産するというドリームプロジェクトの実現を支援して参りたいと存じます。

また、両国の将来にわたる関係発展にとって、国際的な大学間交流は大きな意味をもつと考えます。その意味で、今回の筑波大学とアザディ世界言語大学との学術交流協定への署名は大変重要な一歩であると考えます。是非、両大学間で活発な交流が行われ、これからの日・トルクメニスタン関係をさらに盛り上げていく人材が続々と輩出されることを期待いたします。

4. 結び

大統領閣下，並びに御列席の皆様，

今回の大統領による訪日を契機として，両国の協力が一層深化することを確信します。また，私自身，日・トルクメニスタン友好議員連盟の会長として，今後，両国の関係発展に努めていく所存です。

日本とトルクメニスタンの友好協力関係の一層の発展，そして，ベルディムハメドフ大統領閣下の益々の御健勝，並びにトルクメニスタン国民の皆様の御繁栄を心から祈りつつ，私の挨拶とさせていただきます。

ご清聴，有難うございました。

(了)